

最高裁判所 051209

仕事を図で表現するとどれくらいわかりやすくなるか実感した文字では説明しづらい順序のつながりや重要度も図だと簡単に説明できるところに感動した

図を書くという身近な工夫によって様々な可能性が広がることにとて感動した。できるだけ自分の生活の中でも図を書くことのメリットを生かすようにいろいろ試している。この方法を身につけて仕事のあらゆる場面で役立てられるようになればと思う。

図解することにより理解が深まるということがよくわかった。特に「私の仕事」を図にすることによって今の仕事がほかのどんな部署とつながり、連携しているのか、また今の仕事を通じて最終的には国民サービスにどのような影響を与えているのかを考えさせられた。今後「私の仕事」の図解をより深く検討していきたい。

図を使った考え方は自分自身も再確認できるし、説得もしやすい。図を使った説明でこれから決裁がもらいやすくなるという話が楽しく大いに笑った。

裁判所以外からの講師の方による講義はすごく新鮮で楽しく、また為になるものだった。何事においても図に表すということは今までにもやっていたようであり、実はやっていないというように思われた。あえて、意識して図式化することで大げさないうと、世界観が変わったように感じる。今後は法律の勉強においても、この図式化することでより覚えることができると思い活用していきたいと思う。

数学では図にする習慣は身につけていたのだが、文章も図にするという発想はまさに目からウロコだった。自分の仕事も図にしてみると自分の仕事なのにスムーズに書けなかったり書き忘れがあったりと驚きだった。裁判所では文章による裁判制度がまだまだなくなるとは思うが、上司への報告は図にして、少しずつでも裁判所の体制を変えていきたいと思っている。

物事を図にして考える」という方法は本当に役立つものだと思う。「私の仕事」を図に書くことで人に説明するという今日の研修では、自分自身でも曖昧であった裁判所における自分の置かれている位置を知ることができ、また人にスムーズに、抜けがなく説明することができることを知った。図を書くことで自分の言いたいことを整理しているおかげでスムーズに話せたように思う。

裁判所以外の講師による講義は受ける機会がないので、今回はとても貴重な時間だった。自分の職場を図で表現することができなかった。自分の仕事を理解できていないのだと実感し、現在「一」から出直し中である。さらにまずは自分をより理解するために「図」にしてみた。例えば、自分の長所・短所で考えると、今まで一塊だったモノが、その大きさの違いなどで示すことによって改めて自分を認識できたと思う。今後色々な場面で「図解表現」を活かしていきたいと思う。周囲の興味のある人には先生の著書を薦めていこうと思う。裁判所の批判の点も含め楽しい講義だった。

自分の仕事を図で表すことにより頭でわかっていても、いざ人に説明するとなかなか難しいことに気づいた。自分の頭の中を整理すると同時に表現力を少し向上させるいいきっかけとなった。

自分の仕事を図で表すことがこんなに難しいとは思わなかった。仕事以外にも活用できそうなのでいろいろと挑戦してみたいと思う。

言葉の一つ一つが新鮮で大変面白い内容だった。「仕事」や「考える」ということの根本的な部分を忘れていたように思った。図はものの見方を変える意識の改善に今回の講義では大きな影響を受けた。